



## 第23号

発行  
能勢町民生委員児童委員協議会  
(略称 民児協)  
会長 乾谷 晃

編集  
広報部会

事務局  
能勢町福祉部福祉課  
大阪府豊能郡能勢町栗栖 82-1  
Tel 072-731-2150  
Fax 072-731-2151



アオバズクの親子 写真提供:けやき資料館

能勢町民児協オリジナルスローガン

『里山の暮らしによりそう 民生委員』

【主な内容】 ☆民生委員・児童委員一斉改選  
☆退任委員の声

☆新任委員の声  
☆各部会の活動

会長あいさつ

暮らしに寄り添う相談相手



民児協会会長

乾谷 晃

民生委員児童委員の一斉改選により、令和四年十一月一日、二期目の会長に就任させていただきました。

昨年は、民児協活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。私たち民生委員児童委員は、信条のもと、地域における見守りや困りごと及び心配ごとの身近な相談相手として、また、必要な支援やサービスへの「つなぎ役」として、昼夜を問わず活動しております。

コロナ禍での活動も三年となりこれまで事業の中止や縮小、個々の活動の制限を余儀なくされてきました。しかし、見守り活動は止めることなく行うことが出来ました。

これからも感染の波はあると思いますが、民生委員活動は決して守りにならず、事業やイベントの充実発展に取り組んでいきたいと思っております。

また、今に即した民生委員活動を皆様のご支援とともに発展させていきたいと思えます。

今後とも、皆様と笑顔でお話ができますよう、委員一同努めて参りますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町長あいさつ



能勢町長

上森 一成

民生委員児童委員の皆様におかれましては、平素から地域住民の立場に立った相談支援や見守り活動など、地域福祉の推進にご尽力いただいております。厚くお礼申し上げます。

さて、三年に及ぶコロナ禍は私たちの生活を大きく変化させました。人と人との間には一定の距離を保つことが当たり前となり、多くの人が集まり交流する機会は減少しているように感じます。社会構造が大きく変化し、人口減少が顕在化する中で、本町においても住民相互のつながりの希薄化が懸念される

とあります。

そのような中、本町では行政施設の再編整備を行い、「さとおか防災コミュニティセンター」や医療・介護を一体的に提供できる「能勢町ふれあいプラザ」を整備いたしました。今後とも住民の皆さんの生活の維持・向上をめざし努力してまいりますので、委員の皆様方には、これまでと同様に地域と行政の架け橋としてお力添え賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

能勢町民児協

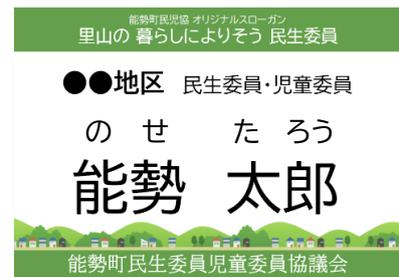
オリジナルスローガン

能勢町民児協の活動をより効果的に推進し、地域住民へのPR活動に寄与するため、協議会オリジナルスローガンを作成しました。

委員及び参加者から作品を募集し、60を超える作品の中から、『里山の暮らしによりそう民生委員』に決定しました。

スローガンについては、協議会が発行する発行物（広報誌、チラシ、

ポスター等）に掲載する予定です。



オリジナルスローガン活用例  
民生委員・児童委員 名札

新任民生委員研修

及び役員研修会

令和五年二月に、今回の一斉改選により新任となった委員（35名）を対象とした新任民生委員研修が開催されました。また、役員を対象とした研修会も実施されました。

今後こうした研修を通じ、委員の資質向上に努めて参ります。



新しい「民生委員児童委員」「主任児童委員」です  
よろしくお願いたします。



東郷地区

- |                 |                 |                |                 |
|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 板谷 幸子<br>(野間稲地) | 平田 民子<br>(野間中)  | 奥 智子<br>(野間西山) |                 |
| 渋谷 容子<br>(野間大原) | 山野 真智子<br>(地黄北) | 畑 秀子<br>(地黄南)  | 村本 修治<br>(野間出野) |



歌垣地区

- |               |               |              |               |
|---------------|---------------|--------------|---------------|
| 下村 昌弘<br>(嘉村) | 辻 平<br>(西村)   | 谷 安生<br>(上村) | 内田 尚<br>(長尾)  |
| 中澤 安弘<br>(和田) | 山田 至邦<br>(吉野) | 小林 勉<br>(山内) | 宮脇 隆行<br>(杉原) |



田尻地区

- |                |               |                |
|----------------|---------------|----------------|
| 百々 佳江<br>(田尻中) | 芝 良一<br>(田尻下) | 安浦 芳美<br>(田尻上) |
|----------------|---------------|----------------|

民生委員・児童委員のマーク

四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」文字と、双葉・鳩を組み合わせ、愛情と奉仕を表しています。

# 久佐々地区

中植 真智子  
(下田)



- 〔上段〕 田尻 いづみ (松風台)
- 本田 慶子 (柏原)
- 伊藤 高子 (平通台)
- 池田 和幸 (平通)
- 黒島 雄貴 (宿野北区)
- 田口 雄一 (宿野北区)
- 山口 安仁 (宿野一区)
- 吉田 俊夫 (片山)
- 〔下段〕 山崎 文 (松風台)
- 今仲 美智子 (天里)
- 堂本 福子 (天里)
- 野木 省吾 (天里)
- 川本 はるみ (宿野二区)
- 藤田 京子 (宿野四区)
- 成田 宏美 (宿野三区)
- 川原 千鶴子 (宿野東区)
- (宿野みどり区)



## 「大阪府版ミンジー」

大阪ブルーのはっぴを着て、左胸に委員バッジをつけています。



# 岐尼・天王地区

- 〔上段〕 石中 佳子 (稲地)
- 西井 智子 (宿野)
- 畑 信子 (今西)
- 堀口 善和 (長谷)
- 中 幸男 (神山)
- 上林 俊雄 (平野)
- 〔下段〕 杉谷 安恵 (天王)
- 中井 眞理子 (東山辺)
- 乾谷 晃 (東山辺)
- 松村 茂樹 (上山辺)
- 新谷 操子 (森上)
- 野田 益子 (山田)
- (垂水)

主任児童委員とは？  
民生委員・児童委員の中で、子どもや子育てに関する支援を専門に行うのが、主任児童委員です。

## 主任児童委員

- 北 智恵美 (久佐々)
- 村本 和子 (歌垣・東郷・田尻)
- 石中 政美 (岐尼・天王)



新任委員さんの声

温もりある地域を



内田 尚  
(長尾区)

この度、民生委員をお受けすることとなり、責任の重さを痛感しているところです。

いま、日本は長期の人口減少過程にあり、高齢化率は世界で最も高い水準にあると言われています。加えて、人と人との関わり合いの希薄化が指摘される中で、地域のつながりを保ち、世代を超えた互いの絆を深めていくことは、安心・安全な社会を築いていく上でますます重要になってきていると感じています。

いつの時代にあつても、一人一人が社会の中で孤立せず、健やかに生きがいを持って暮らしていくためには、地域のつながりは欠くことのできない大切な要素です。

新任の委員として、まずは先輩委員さんや関係各位のご指導をいた

だきながら、微力ではありますが、目の前の一歩から地域福祉推進の取り組みに参画して参りたいと考えています。

その上で、少しでも地域のお力になれますよう努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

挨拶から始めよう



安浦 芳美  
(田尻上区)

新しく上田尻地区を担当することになりました、よろしくお願ひいたします。

子供たちが独立してから地域の方と出会う機会も少なくなり、今日まで過(こ)してきました。地域のことを何も知らないことに自身驚いています。

そこで2023年、出会った人たちにまず挨拶から始めようと決心しました。

地域の人と話す中で援助が必要とされる方の橋渡しに役立つことができたらと、微力ながら努めさせていきたいと思います。

私のできることから



今仲 美智子  
(大里区)

はじめまして。昨年の十二月に地区の民生委員をうけることになりました。「私は、何をすればよいのか?」と不安に思う毎日です。地域で生まれ育ちましたが、子供の頃とは違い、つながりが希薄になつていっていると思います。少しずつ地域を回り声かけができるような関係を作つていきたいと思ひます。

どのような支援を必要とされているのか、また、どのように接していけばよいのか先輩の皆様方の指導をいただきながら、関係機関とのつなぎ役として、私のできることから地域の皆様のお役に立てるように努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

はじめまして



中井 眞理子  
(東山辺区)

能勢にご縁をいただき十五年、四季折々の美しい自然に癒やされ

人の悲しき、寂しき、愛しきにも触れてまいりました。昨年、長年勤めた勤務先を退職。地区福祉委員、民生委員と大切なお役をいただき、心より深く感謝いたします。

地域の高齢化、過疎化が進む中コロナやデジタル化による急激な社会変動の影響も受け、子供の教育、家庭問題、独居老人の方、新たに移住してこられた方、精神的に難しい状況が起こっています。

美しい能勢に住む方々が幸せに暮らせますよう、至りませんが一生懸命努力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

私のできることは...



板谷 幸子  
(野間稲地区)

十二月に任を受けまだひと月、たくさん資料を頂戴したものの新人研修もこれからです。

子育てサロンの活動と前任の方と友愛訪問をしました。

訪問すると、ご家族のサポートや知人との交流のもと、安全と健康に気をつけて暮らしておられるご様子でした。私も一人でマイペースに

過ごし楽なときと、人と関わり心温まるときがあります。今は寒中見舞いのハガキを手がけています。

支え合い、助け合いの活動を通じ、皆様の安心のためのつなぎ役を果たせるよう微力ですが努めていきたいです。



石中 政美  
（主任児童委員）

### 微力ながら一歩ずつ

主任児童委員の推薦のお話をいただいて、ずつと私に本当に務められるのか不安な毎日でした。微力ながら、先輩委員さんのご指導を仰ぎながら、自己管理をしつつ、必要に応じて一歩ずつ前進したいと思えます。

日々のニュースで、「我が子への虐待や殺人、同級生だけでなく指導者からのいじめ、それが原因の不登校や自殺、ヤングケアラーの実態」等々、とても心が痛みます。物事の「現象」はもちろんですが、「見えな根っこにある真意」に心を寄せることが、少しでもできるように努めていきたいと思う次第です。よろしくお願いたします。

### ありがとうございます ございました。

荒木正義様（前・主任児童委員部会部長）は五期十五年、東ひろ子様（前・主任児童委員部会副部長）におかれましては四期十二年に渡って民生委員児童委員としてご尽力をいただきました。長年の活動ご苦労様でした。

### 一斉改選にて退任された方々

- 荒木 正義 東 ひろ子
- 平岡 洋子 狭間 隆
- 奥 一治 中 昌宏
- 原田 綾子 山田 享
- 中川 増一 堀本 正男
- 中井 哲博 新土 壽昭
- 倉脇 也寸志 山澤 文雄
- 角田 節夫 植浦 孝広
- 福井 由美子 森下 喜美代
- 中安 哲男 三浦 富子
- 高津 多津子 奥 祥代
- 高橋 京子 井下 誠
- 乾 義夫 藤井 敬司
- 松村 房代 奥畑 忠
- 福中 京子 堀家 太一
- 得井 克宏 谷澤 松子
- 小谷 美恵子 阪本 和代
- 平田 真一 谷 和代
- 畠 和子 （敬称略・順不同）

### 退任委員さんの声

#### 退任にあたり 荒木 正義

農機具で、自らの不注意により左手、手のひら切断、身体障害者三級の交付を受けてから、私の「福祉に対する原点」のはじまり、三十八歳の時です。

町の障がい者福祉会、現役勤務の傍ら、私なりに十五年間、障がい者福祉を中心に会員相互の親睦と支援活動に専念してきました。

平成十年地区福祉委員会の役員として庶務を担当し、活動を再開、現在の諸事業の継続固定化を図ってきたと自負しています。

主任児童委員に任命されたのは地区福祉委員十年を経験した平成十九年十二月一日です。

月二回の子育てサロン「にこにこ」活動では、季節ごとの物づくりにアイデアと工夫を凝らしてきました。東地区での開催ができたことは、今後、一極集中から分散開催の道筋ができたと思っております。

年二回の学校訪問活動では、

支援学級での見守り支援が、コロナ禍の中で充分支援ができなかったのが心残りです。

スクールバス停での児童生徒の見守り活動は、毎朝七時前に起床⑥号車・⑧号車バス停三カ所の見守り活動「おはようございます」に始まり「行ってらっしゃい」で終わる朝の「あいさつ」運動の一コマです。これは、私自身の「健康管理」のバロメーターとして、平日の取り組みを実践して充実した日々です。

昨年十一月三十日をもちまして民生委員児童委員（主任児童委員）を定年で退任（七十七歳）いたしました。五期十五年間務めることができました。これも、民生委員児童委員・福祉委員の皆さん・関係者の皆さんのご指導ご支援の賜と心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

#### 退任します 倉脇 也寸志

あまり期待に応えられず、情報収集と共助・公助の連携が大事ということを痛感し、反省ばかりです。活動中に何度か救急車に遭遇し、

今この道に入ってくれば、活動がしづらいだろう。緊急時に安全に早く対応するために、もう少し広い道路があれば！

今後も健康を維持し、明るい地域地区であるように、微力ながら協力したく、また能勢町が更なる安心安全の町になることを祈ります。

### 退任にあたり

福井 由美子

二期六年、振り返れば、能勢（地域）のことが何もわからないままに民生委委員をお受けしました

この間、力不足で思うように活動ができなことも多々ありましたが、今になって思えば活動を通じていろんな方々とお出合いし勉強させていただきました。

特に、地域の方や児童福祉部会子育てサロン「にこにこ」の方々と出合える機会を与えていただいたことは、私の宝です。

一期一会

感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

### 共に成長

東 ひろ子

主任児童委員として、四期務めさせていただきました。この間にも子供たちを取り巻く状況は、いじめ・不登校・虐待・ヤングケアラーなど、複雑かつ深刻になっていきました。

しかし、子育てサロン「にこにこ」に参加していた子どもたちが小学生く中学生へと成長していく姿が見られ、とてもうれしく思いました。また、多くの方々との出合いや貴重な体験を通して、私自身も成長させていただきました。ありがとうございました。

これからも、子どもたちの健やかな成長を願うと共に、民児協の皆様方のご活躍をお祈り申し上げます。

### 民生委員児童委員

#### 退任にあたり

谷 和代

民生委員児童委員を六年間務めさせていただきました。

町内の民生委員さんとの出合いや交流・研修会と様々な行事の開催を通じて、多くのことを学ぶことができました。

地域の皆様との世代を超えた多くのふれあいでは、ほっこりと

した温かさや充実感を感じ、その時の温かいお言葉と笑顔は今でも深く心に残っています。

「いきいき百歳体操」では、地域の多くの人が互いの健康を気にかけて、身近なことを話題とし、気軽に交流し合える機会になり本当によかったですと感じています。

出会った多くの皆様、お世話になった皆様ありがとうございました。

### 市村前参与の退任表彰

市村依子様においては、本会外部役員である参与として、平成27年1月より、令和4年11月までの永きにわたり協議会の発展に寄与されました。

このたび、そのご功労へ感謝の意を込めて、表彰状・記念品を贈呈させていただきました。



R5.2.9 保健福祉センターにて



### 各部会より



### 総務企画部会

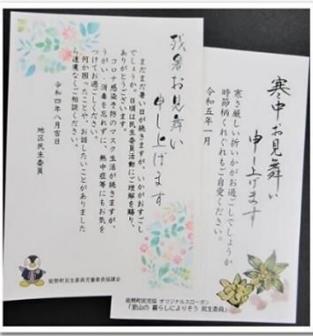
総務企画部会は、本協議会の定例会・役員会の運営や委員資質向上のための講演会や各種研修会の企画運営などの活動を行っています。しかし、この一年もコロナ禍で予定した活動が中止や縮小を余儀なくされました。

昨年十二月の民生委員児童委員の一次改選で本部会も新体制となり、部員八名で活動を始めています。部会では活発に意見を出し合い、定例会・役員会の運営方法の改善、二月には新任民生委員・主任児童委員及び役員研修会を開催いたしました。研修は二日間にわたる長時間のビデオ視聴でしたが、各委員には真剣に受講いただきました。今後とも、地域福祉の推進のため、各関係機関や諸団体と連携を密にし、本協議会の発展と一人ひとりの民生委員児童委員の資質向上に取り組みます。

## 地域福祉部会

昨年コロナ禍における感染リスクの軽減に努め、活動も少なくなりましたが、地域福祉部会のメンバーを中心に能勢町社会福祉協議会の担当者の方と協力し、能勢町内の障がい者支援施設・グループホーム等に友愛訪問を行いました。今回は皆様方に直接お会いすることは出来ませんでした。担当責任者にお会いし、皆様方は訪問を楽しみにしていると聞きしました。

また、地域の見守り訪問活動は感染症予防対策の観点から、夏・冬（残暑見舞い・寒中見舞い）におきましては新たな取り組みとして、ハガキを活用し見守りを実践することにより、地域の高齢者の方等を中心に交流を図っています。今後とも地域福祉部会にご理解とご支援をお願いいたします。



令和4年度 はがき作戦  
(残暑見舞い・寒中見舞い)

## 児童福祉部会

児童福祉部会では、三年前、新たなメンバーを加えて、子育てサロン「にこにこ」の活動をスタートさせました。

その後、感染状況が収まると世界的感染により、活動の休止と例年の保育所・幼稚園への研修訪問もすべて中止の三年間でした。

その後、感染状況が収まるとマスクや消毒等の感染予防対策をとりながら「にこにこ」のみ実施してきました。

その中で、七月二十二日（金）さとおか防災センターでの「にこにこ」の開催、新しくなった施設を活用し、東地区で初めて実施できたことは大きな成果でした。

この三年間は常に感染状況等の確認をしながら休止・再開の判断に苦悩しながらの活動でした。

それでも、参加する子どもさんの成長と笑顔から、元気と活力をもらい、全員楽しく過ごせることができました。

最後に、マスクなしの全員の笑顔が一日も早く見られますようにお祈り申し上げます。

## 主任児童委員部会

能勢町の地域別に担当している三名ですが、能勢町全域に関わっています。

活動としては、児童福祉部会と共に子育てサロン「にこにこ」を実施したり、乳児健診など母子保健事業に関わったり、学校訪問で情報交流を行ったりしています。

乳児健診では、保護者や乳幼児の子どもたちと直接顔を合わせ、世間話をしながら子育てや家族の様子などを聞かせてもらい、お互いにホッとする時間になればいいなと思っています。子育てサロン「にこにこ」のチラシを渡して誘いながら、これからこの繋がりになるよう願っています。



乳幼児健診の様子

## 広報部会

本年度、広報部会では、このささゆり23号の発行に加えて、本協議会オリジナルのスローガンの作成

に取り組みました。全地区の民生委員及び参与から作品の応募をいただき、その総数は60を超えました。

作品については、1次選考において12作品まで絞り込みを行い、その後2次選考の結果、表紙にもあります『里山の 暮らしによりそう 民生委員』が、最優秀作品に選ばれました。手前味噌ですが、能勢らしさも含まれた、良いスローガンになったと思っています。

この作品以外にも、とてもユニークな良い作品が沢山あったのですが、皆様にお見せできず残念です。今後、このスローガンを活用して、民生委員の周知啓発に努めていきたいと考えています。

### 編集後記 (広報部会)

昨年十二月一日に一斉改選が行われ、広報部会は八名になりました。この中で「ささゆり23号」を編集・発行することになり、手探りの状態で何とか発行することが出来ました。

表紙の「アオバズクの親子」は野間の大げやきにとまっているときの写真です。げやき資料館からご提供いただき、今回の表紙とさせていただきます。